

東海ブロックいっせい宣伝は1月26日(月)です



もとむら氏は高市政権の大軍拡予算を批判し「軍備拡大の悪循環で安心は作れない、平和と希望を広げていく一年とするために全力を挙げる」と訴えました。

3日に起きたアメリカのベネズ

一宮市では県議選予定候補の河江明美党県書記長、豊川市では下奥奈歩県議（県議選豊橋市區予定候補）も一緒に訴えました。

年内の解散・総選挙の可能性もある中、もとむら伸子衆院議員は、1月5日、愛知県の名古屋市、一宮市、豊田市、豊川市で、すやま初美党県副委員長や地方議員・予定候補らと宣伝に立ちました。

エラ侵略と大統領夫妻の拘束に対し、世界から批判と抗議の声が広がっています。

静岡の鈴木せつ子県議候補（葵区）は5日、JR静岡駅前で「アメリカの行為は国連憲章に明確に違反します。世界の人たちが平和に暮らすルールを守る行動に立ち上がりましょう」と訴えました。

岐阜市では1日、中川裕子県議、堀田信夫市議、山越徹市委員長らが宣伝。中川県議は「大型公共事業の借金返済が県財政を圧迫しています。県民が求めてるのは福祉や教育、暮らしを応援することです」と訴えました。

25日投票の岐阜市長選に「清潔で住みよい革新岐阜市政をつくる会」から無所属で立候補する大須賀じづか氏（日本共産党推薦）もマイ



クを持ち、「中心部の大型ビルよりも平場の市民の暮らしを応援する」と思いを訴えました。

津市では目前に迫った市議選（18日告示、25日投票、定数30、4減）で勝利をめざす、たき勝弘市議、新

人のもうずみ彩両氏が街頭宣伝に取り組みました。たき候補はトランプ政権によるベネズエラ攻撃は国連憲章・国際法を踏みにじるもので、高市政権はそれにもが言えない」と批判しました。もうずみ候補も市内の交差点で支部・後援会の人たちとスタンディングに取り組みました。

鈴木あやこ、岡田ゆき子、みつなか美由紀、本村、田口かづとの各氏

東海地方の日本共産党の党组织は、高市政権による大軍拡や、政治の中にした共同を広げ、暮らしと経済、平和に希望が持てる政治をつくろうと、各地で宣伝に打って出ました。



日本共産党
国会議員団 東海ブロックコース

2026年
1月9日
第1号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号
電話 ○五二（二六四）○八三三
FAX ○五二（一六四）○八五〇
Eメール tokaihlc@ybb.ne.jp